



For your future™

News Release

報道ご関係者各位  
2013年8月12日

TSX/NYSE/PSE: MFC

SEHK:945

## 2013年度第1四半期報告

マニライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼 CEO: ギャビン・ロビンソン、本社: 東京都調布市)の2013年度第1四半期(2013年4~6月)業績をお知らせいたします。

当四半期は、営業職員数や代理店数が順調に増加し、販売チャネルへの商品の投入も更に多角化し、堅調な販売業績となりました。前年度の税制改正による影響により一部の商品で販売が減少しましたが、2012年に発売した「Prosperity 定期保険」や「未来ステップ」の販売が好調であり、当四半期の個人保険新契約年換算保険料は90億円となりました。個人保険の保有契約年換算保険料は、2012年度末比102.1%と伸展しており、安定的な収益が確保される環境が整いつつあります。

当四半期の損益状況については、金利変動リスク管理を更に強化する目的で再保険の活用を図ったことにより責任準備金戻入額が発生したこと等もあり、基礎利益が248億円、経常利益、純利益は、それぞれ258億円、189億円となりました。当社のソルベンシー・マージン比率は、2013年6月末時点で1,246.3%と引き続き高い水準を維持しています。

第1四半期業績について、ギャビン・ロビンソン社長兼 CEO は、次のように述べています。

「当四半期において営業職員数や代理店数が増加しており、その結果、当社の販売は堅調に推移しております。今後もお客様にとってより良い商品とサービスをご提供するための取り組みを引き続き行い、事業を成長させてまいります」

### マニライフについて

マニライフ生命保険株式会社(「マニライフ生命」)は、マニライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。マニライフ・ファイナンシャルは、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス・グループです。お客様は、マニライフが信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を提供することを期待されています。同社職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、数百万のお客様に経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、機関投資家のお客様には、資産運用サービスもご提供しています。マニライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2013年6月30日現在5,670億カナダドル(5,390億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニライフ・ファイナンシャル(マニライフ)として、米国においては主にジョン・ハンコックのブランドで事業を展開しています。マニライフ・ファイナンシャルは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニライフ・ファイナンシャルについての詳細はウェブサイト([www.manulife.com](http://www.manulife.com))をご覧ください。マニライフ生命のウェブサイトは次の通りです。(www.manulife.co.jp)



## 2013 年度 第 1 四半期報告

2013 年度第 1 四半期(4 月 1 日～6 月 30 日)の業績は添付のとおりです。

### < 目 次 >

	頁
1. 主要業績.....	1
2. 資産運用の実績(一般勘定).....	3
3. 四半期貸借対照表.....	5
4. 四半期損益計算書.....	6
5. 経常利益等の明細(基礎利益).....	8
6. ソルベンシー・マージン比率.....	9
7. 特別勘定の状況.....	11
8. 保険会社及びその子会社等の状況.....	11

### 【別添】

(参考) 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

## 1. 主要業績

### (1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	2012年度末		2013年度 第1四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個 人 保 険	727	52,008	734	101.0	53,609	103.1
個 人 年 金 保 険	297	17,106	287	96.8	16,553	96.8
団 体 保 険	—	377	—	—	386	102.4
団 体 年 金 保 険	—	47	—	—	46	97.9

- (注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金及び個人年金保険に付加された特約の死亡保障額を合計したものです。ただし、個人変額年金保険については、保険料積立金の金額です。
2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

・新契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	2012年度 第1四半期累計期間				2013年度 第1四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比		前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	26	2,396	2,413	△ 17	27	103.7	3,044	127.0	3,056	△ 11
個 人 年 金 保 険	4	318	318	—	1	36.0	160	50.5	160	—
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。
2. 新契約の個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資です。ただし、個人変額年金保険については、新契約時の基本保険金額です。

## (2) 年換算保険料

### ・保有契約

(単位:百万円、%)

区 分	2012年度末	2013年度 第1四半期会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	206,754	211,009	102.1
個 人 年 金 保 険	146,222	138,737	94.9
合 計	352,977	349,746	99.1
うち医療保障・ 生前給付保障等	93,411	92,400	98.9

### ・新契約

(単位:百万円、%)

区 分	2012年度 第1四半期累計期間	2013年度 第1四半期累計期間	前年同期比
個 人 保 険	13,824	9,026	65.3
個 人 年 金 保 険	3,556	1,501	42.2
合 計	17,381	10,528	60.6
うち医療保障・ 生前給付保障等	6,871	2,052	29.9

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)です。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。
3. 年換算保険料(新契約)は、新契約に、転換による純増加を加えた数値です。

## 2. 資産運用の実績(一般勘定)

### (1) 資産の構成

(単位:百万円、%)

区 分	2012年度末		2013年度 第1四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	26,108	3.1	19,584	2.4
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	—	—	—	—
有価証券	731,430	87.5	735,544	88.7
公 社 債	477,459	57.1	496,888	59.9
株 式	37,558	4.5	41,046	4.9
外 国 証 券	199,675	23.9	182,660	22.0
公 社 債	199,675	23.9	182,660	22.0
株 式 等	—	—	—	—
その他の証券	16,738	2.0	14,949	1.8
貸付金	8,167	1.0	8,275	1.0
不動産	30,694	3.7	30,572	3.7
繰延税金資産	548	0.1	—	—
その他	38,679	4.6	35,703	4.3
貸倒引当金	△ 53	△ 0.0	△ 55	△ 0.0
合 計	835,575	100.0	829,624	100.0
うち外貨建資産	106,603	12.8	91,993	11.1

(注)「不動産」については土地・建物を合計した金額を計上しています。

## (2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区 分	2012年度末					2013年度第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差 益	差 損	差 益			差 損		
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	232,238	236,640	4,402	8,714	4,311	264,605	265,479	873	4,790	3,916
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	455,830	498,267	42,437	42,989	551	441,263	470,013	28,749	29,982	1,233
公 社 債	292,833	308,985	16,152	16,247	94	290,059	295,762	5,702	6,402	699
株 式	30,247	36,633	6,386	6,830	444	30,921	40,121	9,199	9,593	394
外 国 証 券	119,859	135,910	16,050	16,051	0	109,234	119,180	9,946	10,059	113
公 社 債	119,859	135,910	16,050	16,051	0	109,234	119,180	9,946	10,059	113
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	12,889	16,738	3,848	3,859	11	11,048	14,949	3,900	3,927	26
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	688,068	734,908	46,840	51,703	4,863	705,869	735,493	29,623	34,773	5,150
公 社 債	461,306	484,162	22,855	22,966	110	491,185	499,721	8,536	9,637	1,100
株 式	30,247	36,633	6,386	6,830	444	30,921	40,121	9,199	9,593	394
外 国 証 券	183,624	197,374	13,750	18,046	4,296	172,714	180,700	7,986	11,615	3,628
公 社 債	183,624	197,374	13,750	18,046	4,296	172,714	180,700	7,986	11,615	3,628
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	12,889	16,738	3,848	3,859	11	11,048	14,949	3,900	3,927	26
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。  
2. 上記の責任準備金対応債券に関連して、通貨関連のデリバティブ取引があり、その差損益は2013年度第1四半期会計期間末で2,162百万円、2012年度末で3,310百万円です。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	2012年度末	2013年度 第1四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非 上 場 外 国 債 券	—	—
そ の 他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	853	853
その他の有価証券	70	70
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	70	70
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非 上 場 外 国 債 券	—	—
そ の 他	0	0
合 計	924	924

## (3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別	2012年度末 要約貸借対照表 (2013年3月31日現在)	2013年度 第1四半期会計期末 (2013年6月30日現在)
		金 額	金 額
(資産の部)			
現金及び預貯金		30,105	23,306
有価証券		2,150,719	2,103,878
国債		316,303	330,292
地方債		10,026	11,450
社債		151,128	155,145
株式		37,558	41,046
外国証券		199,675	182,660
その他の証券		1,436,027	1,383,283
貸付金		8,167	8,275
保険約款		5,461	5,483
一般貸付		2,706	2,791
有形固定資産		31,549	31,342
無形固定資産		8,500	7,977
再保険資産		3,717	2,257
その他の資産		28,200	27,519
繰延税金資産		548	—
貸倒引当金		△ 53	△ 55
資産の部合計		2,261,455	2,204,502
(負債の部)			
保険契約準備金		2,148,537	2,050,052
支払準備金		16,348	14,403
責任準備金		2,129,853	2,033,433
契約者配当準備金		2,336	2,216
代理店借入金		2,023	1,366
再保険借入金		10,344	36,874
その他の負債		9,624	11,593
未払法人税等		91	252
リース負債		65	49
資産除去債務		211	212
その他の負債		9,255	11,079
役員賞与引当金		15	32
退職給付引当金		3,422	3,314
価格変動準備金		974	1,041
繰延税金負債		—	1,627
負債の部合計		2,174,942	2,105,903
(純資産の部)			
資本金		56,400	56,400
利益剰余金		9,432	28,352
その他の利益剰余金		9,432	28,352
繰越利益剰余金		9,432	28,352
株主資本合計		65,832	84,752
その他有価証券評価差額金		21,271	14,357
繰延ヘッジ損益		△ 590	△ 511
評価・換算差額等		20,680	13,846
純資産の部合計		86,513	98,598
負債及び純資産の部合計		2,261,455	2,204,502

#### 4. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	
	2012年度 第1四半期累計期間 (2012年 4月 1日から 2012年 6月 30日まで)	2013年度 第1四半期累計期間 (2013年 4月 1日から 2013年 6月 30日まで)
	金 額	金 額
<b>経 常 収 益</b>	<b>154,748</b>	<b>294,514</b>
<b>保 険 料 等 収 入</b>	<b>109,627</b>	<b>151,463</b>
保 険 料	83,506	70,950
再 保 険 収 入	26,121	80,512
<b>資 産 運 用 収 益</b>	<b>5,961</b>	<b>43,006</b>
(うち利息及び配当金等収入)	( 3,443 )	( 4,936 )
(うち有価証券売却益)	( 936 )	( 2,181 )
(うち金融派生商品収益)	( 1,579 )	( - )
(うち特別勘定資産運用益)	( - )	( 35,885 )
<b>そ の 他 経 常 収 益</b>	<b>39,159</b>	<b>100,044</b>
(うち支払備金戻入額)	( 337 )	( 1,945 )
(うち責任準備金戻入額)	( 36,213 )	( 96,419 )
<b>経 常 費 用</b>	<b>156,310</b>	<b>268,747</b>
<b>保 険 金 等 支 払 金</b>	<b>80,126</b>	<b>246,685</b>
保 険 金	5,368	5,555
年 金	5,824	14,141
給 付 金	6,828	9,120
解 約 返 戻 金	18,674	85,180
そ の 他 返 戻 金	437	529
再 保 険 料	42,992	132,158
<b>責 任 準 備 金 等 繰 入 額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
契約者配当金積立利息繰入額	0	0
<b>資 産 運 用 費 用</b>	<b>59,384</b>	<b>7,068</b>
(うち支払利息)	( 9 )	( 0 )
(うち有価証券売却損)	( 1,574 )	( 146 )
(うち有価証券評価損)	( 647 )	( 20 )
(うち金融派生商品費用)	( - )	( 1,800 )
(うち特別勘定資産運用損)	( 52,326 )	( - )
<b>事 業 費 用</b>	<b>14,562</b>	<b>13,300</b>
<b>そ の 他 経 常 費 用</b>	<b>2,235</b>	<b>1,692</b>
<b>経 常 利 益 ( △ は 損 失 )</b>	<b>△ 1,561</b>	<b>25,766</b>
<b>特 別 利 益</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
<b>特 別 損 失</b>	<b>61</b>	<b>67</b>
価格変動準備金繰入額	61	67
<b>契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額</b>	<b>3</b>	<b>3</b>
<b>税 引 前 四 半 期 純 利 益 ( △ は 純 損 失 )</b>	<b>△ 1,626</b>	<b>25,695</b>
<b>法 人 税 及 び 住 民 税</b>	<b>22</b>	<b>1,469</b>
<b>法 人 税 等 調 整 額</b>	<b>△ 479</b>	<b>5,306</b>
<b>法 人 税 等 合 計</b>	<b>△ 457</b>	<b>6,776</b>
<b>四 半 期 純 利 益 ( △ は 純 損 失 )</b>	<b>△ 1,169</b>	<b>18,919</b>



## 注 記 事 項

(四半期貸借対照表関係)

2013 年度第 1 四半期会計期間末		
1. 契約者配当準備金の異動状況は、以下のとおりであります。		
イ.	当期首現在高	2,336 百万円
ロ.	当第 1 四半期累計期間契約者配当金支払額	123 百万円
ハ.	利息による増加	0 百万円
ニ.	契約者配当準備金繰入額	3 百万円
ホ.	当第 1 四半期会計期間末現在高	2,216 百万円

(四半期損益計算書関係)

2013 年度第 1 四半期累計期間
1. 普通株式に係る 1 株当たり四半期純利益は 346,319 円 63 銭であります。

## 5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位:百万円)

	2012年度 第1四半期累計期間 (2012年 4月 1日から 2012年 6月 30日まで)	2013年度 第1四半期累計期間 (2013年 4月 1日から 2013年 6月 30日まで)
<b>基礎利益</b> <b>A</b>	<b>△ 1,220</b>	<b>24,750</b>
キャピタル収益	2,516	2,375
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	936	2,181
金融派生商品収益	1,579	—
為替差益	—	193
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	2,342	1,966
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	1,574	146
有価証券評価損	647	20
金融派生商品費用	—	1,800
為替差損	121	—
その他キャピタル費用	—	—
<b>キャピタル損益</b> <b>B</b>	<b>173</b>	<b>408</b>
<b>キャピタル損益含み基礎利益</b> <b>A+B</b>	<b>△ 1,047</b>	<b>25,159</b>
臨時収益	67	972
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	923
個別貸倒引当金戻入額	0	0
その他臨時収益	67	47
臨時費用	581	365
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	154	—
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	426	365
<b>臨時損益</b> <b>C</b>	<b>△ 513</b>	<b>606</b>
<b>経常利益(△は損失)</b> <b>A+B+C</b>	<b>△ 1,561</b>	<b>25,766</b>

(注) 1. 2013年度第1四半期累計期間の基礎利益には、再保険の出再割合変更に伴う責任準備金戻入額57,002百万円及び当該再保険契約に係る一時費用32,801百万円を含めています。

2. 外貨建保険商品に係る為替差損益は、基礎利益に含めています。

3. 「その他臨時収益」は、契約条件変更に基づく早期解約控除額及び個人年金保険の解約等による責任準備金削減額です。

4. 「その他臨時費用」は、移転保険契約価値償却です。

## 6. ソルベンシー・マージン比率

### (1) 単体ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項 目	2012年度末	2013年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	171,996	176,146
資本金等	65,832	84,752
価格変動準備金	974	1,041
危険準備金	19,533	18,609
一般貸倒引当金	3	5
その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	27,560	18,520
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 4,946	△ 5,011
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	58,844	45,622
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	4,194	12,606
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	27,985	28,265
保険リスク相当額 $R_1$	2,101	1,939
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	948	677
予定利率リスク相当額 $R_2$	1,928	1,535
資産運用リスク相当額 $R_3$	22,814	23,615
最低保証リスク相当額 $R_7$	2,467	2,387
経営管理リスク相当額 $R_4$	605	603
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,229.1%	1,246.3%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び1996年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
2. 「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は2011年金融庁告示第25号第1第1項第1号に規定する額、「負債性資本調達手段等」は同告示第1第1項第2号に規定する額、「全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額」は同告示第1第1項第3号に規定する額を記載しています。
3. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

## (2) 連結ソルベンシー・マージン比率

2013年度第1四半期連結会計期間末において、子会社であるマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社及びマニユライフ・インベストメンツ・ジャパン株式会社との連結ソルベンシー・マージン比率を算出し開示しています。

(単位:百万円)

項 目	2012年度末	2013年度 第1四半期 連結会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	172,138	176,295
資本金等	65,974	84,902
価格変動準備金	974	1,041
危険準備金	19,533	18,609
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	3	5
その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	27,560	18,520
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 4,946	△ 5,011
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	58,844	45,622
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	4,194	12,606
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2 + R_8 + R_9})^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$ (B)	27,729	28,009
保険リスク相当額 $R_1$	2,101	1,939
一般保険リスク相当額 $R_5$	—	—
巨大災害リスク相当額 $R_6$	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	948	677
少額短期保険業者の保険リスク相当額 $R_9$	—	—
予定利率リスク相当額 $R_2$	1,928	1,535
最低保証リスク相当額 $R_7$	2,467	2,387
資産運用リスク相当額 $R_3$	22,561	23,362
経営管理リスク相当額 $R_4$	600	598
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,241.5%	1,258.8%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び2011年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
2. 「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は2011年金融庁告示第25号第4第1項第1号に規定する額、「負債性資本調達手段等」は同告示第4第1項第2号に規定する額、「全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額」は同告示第4第1項第3号に規定する額を記載しています。
3. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

## 7. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位:百万円)

区 分	2012年度末	2013年度 第1四半期会計期間末
個人変額保険	5,322	5,404
個人変額年金保険	1,420,557	1,369,473
団体年金保険	—	—
特別勘定計	1,425,880	1,374,878

### (2) 保有契約高

#### ・個人変額保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2012年度末		2013年度 第1四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額保険(有期型)	4	11,176	5	15,678
変額保険(終身型)	2	5,930	2	5,885
変額積立特約	—	1,756	—	1,743
合 計	6	18,862	7	23,307

(注)保有金額には変額保険に付加された定期保険特約を含んでいます。

#### ・個人変額年金保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2012年度末		2013年度 第1四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	225	1,417,239	215	1,367,285
合 計	225	1,417,239	215	1,367,285

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

2013年度第1四半期においては、子会社等の規模を考慮し、当企業集団全体の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、連結財務諸表を作成していません。

(参考)

## 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

2013年6月末時点での、当社における証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資は、以下のとおりです。

### 1. 投資状況

#### ①特別目的事業体(SPEs)一般

該当ありません。

#### ②債務担保証券(CDO)

(単位:百万円)

	時価	含み損益	実現損益	
債務担保証券(CDO)	494	101	—	
ABS-CDO	494	101	—	
	シニア/メザニン	494	101	—
	うちサブプライム・Alt-A エクスポート	—	—	—
	エクイティ	—	—	—
うちサブプライム・Alt-A エクスポート	—	—	—	
CLO	—	—	—	
	シニア	—	—	—
	メザニン	—	—	—
CBO	—	—	—	
	シニア	—	—	—
	メザニン	—	—	—
その他	—	—	—	
	シニア	—	—	—
	メザニン	—	—	—
エクイティ	—	—	—	

#### ③その他のサブプライム・Alt-Aエクスポート

該当ありません。

#### ④商業用不動産担保証券(CMBS)

該当ありません。

#### ⑤レバレッジド・ファイナンス

該当ありません。

#### ⑥その他

(単位:百万円)

	時価	含み損益	実現損益
住宅ローン債権担保証券(RMBS)	295	16	—